

2011 年度 幾何学 成績について

担当：境 圭一

演習を履修する人．

(1) 講義の成績は中間試験と期末試験により判定し，場合によっては演習の出席点で救済します． 中間・期末試験は各 100 点満点で行い，

$$X = 0.7 \times \text{良かったほうの点数} + 0.3 \times \text{悪かったほうの点数}$$

(最大 100 点，小数点以下切り上げ) として， $X \geq 60$ なら「秀」～「可」をつけます． $X < 60$ の場合は演習の出席点から融通し，最大で $X = 60$ (「可」) にします．救済すると共倒れになる場合は演習を優先し，講義を「不可」にします．

どちらかの試験を欠席し，申し出もない場合は「不可」にします．

(2) 演習の成績はレポートと出席により判定します．

- レポート：20 点満点 \times 3 回 (最大 60 点)
- 出席点：一回につき 4 点 (最大 60 点)

から，上で融通した分を引いた点数とします (上限 100 点)．演習の履修者は，演習終了時に計算用紙などに番号・名前を書いて提出してください (内容の採点はしませんが，講義の参考にさせていただきます)．

(3) 中間試験は 5/30 (月) 3 限に，期末試験は 7/25 (月) 3 限に行います (ともに 4 限は簡単な解説をする予定)． 教育実習や就職活動などの理由で試験を受けられない場合，事前に申し出てください．別途レポートを課し，試験に代えます．

講義のみ履修する人．

講義の成績は上と同様です． 出席は講義中に取ります (一回につき 2 点，最大 30 点)．

質問などがあれば，理学部 A 棟 403 に来てください．

または ksakai@math.shinshu-u.ac.jp まで．

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/11_geometry/11_geometry.html